

知っておきたい！粉薬の上手な飲ませ方



基本のルール

1. 清潔第一！ 赤ちゃんは抵抗力が弱いので、必ず手を洗ってから！
2. 量と回数を守る！ 自己判断で量や回数を増減しない！
3. 市販薬と併用しない！
4. 保管は子どもの手の届かないところへ！

飲ませ方のポイント



10か月くらいまでは…

粉薬は赤ちゃんに飲ませにくいので、1～2滴の水でダンゴ状にして、ママの指につけて、赤ちゃんの上あごや頬の内側、味覚を感じにくい舌の奥のほうなどに塗りつけ、その後水分を与えましょう。

10か月過ぎたら…

飲み物や、食べ物に混ぜて与えてもOK。苦味のある粉薬も、甘いものに混ぜて与えれば、スムーズに飲ませることができます。時間がたつと苦くなってしまうので、必ず食べる直前に混ぜ、一口で食べられる量に混ぜることが大切です。その後すぐに飲み物を与えて、口の中をスッキリさせてあげましょう。

混ぜていいもの・ダメなもの

水やぬるま湯、乳製品やジュースなどは、ほとんどの場合、薬と混ぜても問題ありません。ただし、薬の中には酸やアルカリによって変化するものもあるので、念のため、医師や薬剤師に確認したほうがよいでしょう。

要注意 1 主食のミルクやおかゆには、絶対混ぜない

成分的には比較的問題ないが、ミルクやおかゆは、味が淡白なため、苦い薬を混ぜると赤ちゃんはその苦味をおぼえてしまい、薬を混ぜていなくても嫌がって食べなくなります。

要注意 2 熱いものに混ぜない

熱いものに混ぜてしまうと薬の成分が変化してしまうこともあるので、気をつけましょう。

要注意 3 抗生物質は、混ぜるものによって苦味が増す

抗生物質の中には、ジュースやヨーグルト、スポーツ飲料に混ぜると、かえって苦味が倍増してしまう薬もあります。味だけでなく、成分まで変化することもあるので要注意です。

また、牛乳に混ぜると、成分の吸収が妨げられる場合もあるので、念のために医師に相談しましょう。